

「第 16 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会」議事概要

日 時：平成 26 年 3 月 24 日（月）13：30～16：00

場 所：一般社団法人 高知県山林協会 1F 会議室

出席者：小林紀之委員長、奥田史郎副委員長、加藤真委員（欠席）、仲尾強委員（欠席）、西村武二委員

事務局 倉野裕司、荒尾正剛、近藤信介、吉川聖真、森本祐平

議事

1 報告事項

- （1）経過報告
- （2）高知県 J-VER クレジット発行の満了
- （3）高知県版 J-クレジット制度への移行
- （4）高知県版 J-クレジット制度の更新
- （5）高知県 J-VER 活用状況

2 検討事項

- （1）排出削減系方法論の追加
- （2）モデル事業
- （3）高知県内における木質バイオマス利用状況

3 その他

議事概要

1 報告事項

（1）経過報告

1）第 15 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会の議事概要

- ・10 月 18 日（金）13:30～16:40 に（一社）高知県山林協会 1F 会議室で開催。
- ・持続性確認について、平成 25 年 6 月 30 日までにプロジェクト登録されている 11 代表事業者から森林施業計画および伐採届け等の持続性確認に必要な資料が提出された。
- ・高知県版 J-クレジット制度の承認について、平成 25 年 10 月 1 日に開催された第 1 回 J-クレジット制度運営委員会で承認され、10 月 15 日より開始届けの受付を開始した。
- ・「高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト」のモニタリング報告書及び検証報告書に基づき、審査を行い 273t-CO₂ の吸収量が認証された。
- ・「高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト」のモニタリング報告書及び検証報告書に基づき、審査を行い 2,299t-CO₂ の吸収量が認証された。

2）J-クレジット制度等普及促進研修会及びマッチングイベントの実施、参加

- ・10 月 23～24 日、11 月 26 日に「J-クレジット制度等に参加する検証機関等の育成講習会（森林 PJ-実践編）（環境省主催）」に参加。10 月 23～24 日は冷温帯林～亜寒帯林。参加者 13 名。11 月 26 日は暖温帯林。参加者 17 名。

- ・ 1月9日に「カーボン・オフセットマッチング in Kochi」を開催。来場者 105 名。
- ・ 2月 17～18 日に「高知県版 J-クレジット制度説明会・研修会（西部会場）」を開催。参加者 11 名。
- ・ 2月 24 日に「高知県版 J-クレジット制度説明会・研修会（中・東部会場）」を開催。参加者 13 名。
- ・ その他、8 回の研修会およびマッチングイベントに参加、出展。

(2) 高知県 J-VER クレジット発行の満了

- ・ 第 15 回認証委員会で認証された、津野町、中土佐町をもって、高知県 J-VER クレジットの発行を満了。
- ・ 11 プロジェクトから、9,206t-CO2 のクレジットが創出された。
- ・ 高知県 J-VER 制度から高知県版 J-クレジット制度に移行したプロジェクトは、4 月以降、高知県版 J-クレジットとしてクレジット発行される。

(3) 高知県版 J-クレジット制度への移行

- ・ 現在、高知県 J-VER 制度で登録された 11 プロジェクトのうち、9 プロジェクトについて移行が完了。
- ・ 残り 2 プロジェクトも、現在、移行準備中。

(4) 高知県版 J-クレジット制度の更新

- ・ 地域版 J-クレジット制度は、年度ごとに更新申請が必要。
- ・ 平成 26 年度分の更新申請が、平成 26 年 1 月 20 日に開催された第 2 回 J-クレジット制度運営委員会で承認された。

(5) 高知県 J-VER 活用事例

- ・ 販売されたクレジットは、中土佐町 20t-CO2、大豊町 11t-CO2、梶原町 10t-CO2、高知市 108t-CO2 の合計 149t-CO2。
- ・ 譲渡、移転されたクレジットは、津野町 479t-CO2、中土佐町 208t-CO2、大豊町 11t-CO2、高知市 461t-CO2 の合計 1,159t-CO2。
- ・ 「立川体験交流の会」、「株式会社四国銀行」の活用事例の紹介。

2 検討事項

(1) 排出削減系方法論の追加

- ・ 高知県 J-VER 制度、高知県版 J-クレジット制度の方法論は、現在のところ森林吸収系のみ。平成 26 年度は、排出削減系の方法論「EN-R-001：バイオマス固形燃料（木質バイオマス）による化石燃料又は系統電力の代替」の追加を検討。

(2) モデル事業

- ・ 高知県内で実施している排出削減系プロジェクト「梶原町木質バイオマス地域資源循環事業」の説明。

(3) 高知県内における木質バイオマス利用状況

- ・今年度末までに、ペレット 190 台、チップ 2 台、おが粉 7 台、薪 9 台の合計 208 台のボイラーが県内に導入される。(予定も含む)
- ・今後、JA 等に働き掛け、プログラム型の申請を検討する。

3 その他

- ・今後の予定として、第 17 回委員会については 2 - 四半期の 7 月中に開催予定。
- ・内容については、削減系方法論 (EN-R-001) の追加について、J-クレジット制度運営事務局への変更申請の提出となる予定。